

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2016-505462

(P2016-505462A)

(43) 公表日 平成28年2月25日 (2016. 2. 25)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 5/52 (2006. 01)	B 6 5 D 5/52 Z	3 E 0 6 0
B 6 5 D 5/50 (2006. 01)	B 6 5 D 5/50 1 O 1 B	3 E 0 9 6
B 6 5 D 5/44 (2006. 01)	B 6 5 D 5/44 U	
B 6 5 D 85/38 (2006. 01)	B 6 5 D 85/38 A	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2015-549907 (P2015-549907)	(71) 出願人	515177882
(86) (22) 出願日	平成25年12月17日 (2013. 12. 17)		タマゴ ホールディング エッセアー
(85) 翻訳文提出日	平成27年8月6日 (2015. 8. 6)		スイス国、1 2 0 1 ジュネーブ、リュ
(86) 国際出願番号	PCT/CA2013/050981		デュ モン ブラン 1 4
(87) 国際公開番号	W02014/100899	(74) 代理人	100086380
(87) 国際公開日	平成26年7月3日 (2014. 7. 3)		弁理士 吉田 稔
(31) 優先権主張番号	61/746, 639	(74) 代理人	100103078
(32) 優先日	平成24年12月28日 (2012. 12. 28)		弁理士 田中 達也
(33) 優先権主張国	米国 (US)	(74) 代理人	100130650
			弁理士 鈴木 泰光
		(74) 代理人	100135389
			弁理士 臼井 尚
		(74) 代理人	100161274
			弁理士 土居 史明

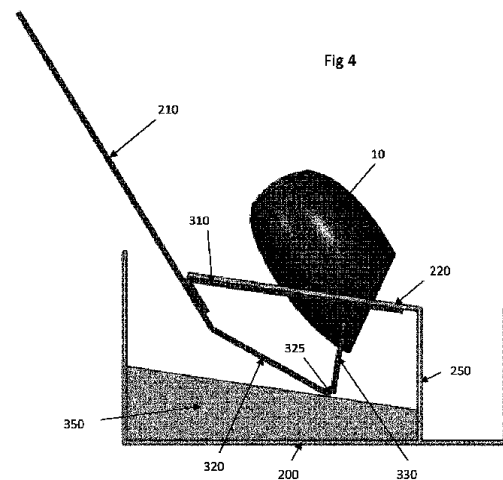
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 卵形の装置の包装箱

(57) 【要約】

箱内の製品がうまく提示され、かつ箱を開けたときに箱から製品を容易に取出し可能である、包装箱を提供する。互いに蝶着された一連の板紙から四節機構を形成する。箱を開けたときに、卵形の製品は押し上げられ、より目立つかまたはより露出した提示位置に移動する。

【選択図】 図 4



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上蓋と、底部容器と、蝶着扉と、前記底部容器に設置された物品ホルダ壁とを備え、物品を部分的に提示するために前記蝶着扉に穴が設けられ、前記物品が前記物品ホルダ壁に保持される、物品用の包装箱であって、

前記物品ホルダ壁は、前記蝶着扉が開位置にあるときに、前記物品を移動させてより目立つように提示するように構成された、包装箱。

【請求項 2】

前記物品ホルダ壁が移動すると、前記物品が上昇し、かつ／またはより目立つように提示されるようになる、請求項 1 に記載の包装箱。

10

【請求項 3】

前記底部容器に固定された内部頂壁と、第 1 ヒンジ壁と、第 2 ヒンジ壁とをさらに備え、

前記蝶着扉は前記内部頂壁の後端に蝶着され、

前記内部頂壁の下で、前記物品ホルダ壁は前記内部頂壁の後端に蝶着され、

前記第 1 ヒンジ壁および前記第 2 ヒンジ壁はヒンジ線で互いに蝶着され、

前記第 1 ヒンジ壁の他端は前記蝶着扉の後端に蝶着され、

前記第 2 ヒンジ壁の他端は前記物品ホルダ壁の中央部に蝶着され、

前記蝶着扉、前記第 1 ヒンジ壁、前記第 2 ヒンジ壁、および前記物品ホルダ壁は四節機構を形成する、請求項 1 または 2 に記載の包装箱。

20

【請求項 4】

2 つの内部側壁と内部前壁とをさらに備え、前記内部頂壁、前記 2 つの内部側壁、および前記内部前壁は前記物品を格納するための空間を画定し、付属品用の空間は前記包装箱の前記内部前壁の前に画定される、請求項 3 に記載の包装箱。

【請求項 5】

前記内部側壁の下部に沿って内側に取り付けられた 2 つのスライダ壁をさらに備え、前記第 2 ヒンジ壁は前記第 1 ヒンジ壁より幅が狭く、前記第 1 ヒンジ壁の前記下端の左右先端部は前記スライダ壁の上端を摺動することができる、請求項 4 に記載の包装箱。

【請求項 6】

前記蝶着扉を把持して開けるために、前記蝶着扉の遠端に取り付けられたプルタブをさらに含む、請求項 1 に記載の包装箱。

30

【請求項 7】

前記箱は板紙から作られる、請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載の包装箱。

【請求項 8】

前記物品は卵形の装置である、請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載の包装箱。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載の包装箱と前記箱内の卵形の物品との組合せ。

【発明の詳細な説明】

【関連出願】

【0001】

40

本願は、参照によって本書に援用する、2012 年 12 月 28 日出願の同一名称の米国仮特許出願第 61/746,639 号の優先権を主張する。

【技術分野】

【0002】

本発明は包装箱に関する。さらに詳しくは、それは卵形カメラ用の改善された包装箱に関する。

【背景技術】

【0003】

デジタルカメラ、携帯電話のような小型の製品用の包装箱の分野では、内部の製品および／または付属品と箱の構造との位置合わせはよく知られている。しかし、通常、製品は

50

包装箱内でうまく提示されず、かつ箱から簡単に取り出せない。

【発明の概要】

【0004】

本発明の目的は、箱内の製品（例えば卵形の装置）をきれいに提示することができ、かつ箱を開けたときに製品を箱から簡単に取り出すことができる、包装箱を提供することである。

【0005】

本発明のさらなる目的は、互いに蝶着された一連の板紙から作られた四節機構によりこれを達成することである。箱を開けたときに、卵形の製品は押し上げられ、より目立つまたは露出した提示位置に移動する。

10

【0006】

該包装箱は、頂部箱筐体、底部箱筐体、蝶着扉、および底部箱筐体に設置されたホルダ壁を含み、蝶着扉には、装置を部分的に提示するために穴が設けられ、装置はホルダ壁に固定され、蝶着扉が開くと、ホルダ壁は装置をより目立つように提示するように移動する。

【0007】

さらに、ホルダ壁が移動すると、装置は上昇し、かつ／またはより完全に、またはより目立つように提示されるようになる。

【0008】

さらに、包装箱は、底部箱筐体に固定された内部頂壁、第1ヒンジ壁および第2ヒンジ壁を含み、蝶着扉は内部頂壁の後端に蝶着され、内部頂壁の下で、ホルダ壁は内部頂壁の後端に蝶着される。第1ヒンジ壁および第2ヒンジ壁はヒンジ線で互いに蝶着され、第1ヒンジ壁の他端は蝶着扉の後端に蝶着され、第2ヒンジ壁の他端はホルダ壁の中央部に蝶着され、蝶着扉、第1ヒンジ壁、第2ヒンジ壁、およびホルダ壁は四節機構を形成する。

20

【0009】

さらに、包装箱は2つの内部側壁および内部前壁を含み、内部頂壁、前記2つの内部側壁、および内部前壁は、装置を格納するための空間を画定し、付属品箱用の空間は内部前壁の前に画定される。

【0010】

さらに、包装箱は、内部側壁の下部に沿って内側に取り付けられた2つのスライダを含み、第2ヒンジ壁は第1ヒンジ壁より幅が狭く、第1ヒンジ壁の下端の左右先端部はスライダ壁の上端を摺動することができる。

30

【0011】

さらに、包装箱は、蝶着扉を持ち上げて開くために、その遠端に取り付けられたプルタブを含む。

【0012】

さらに、箱は板紙から作られる。

【0013】

包装箱は矩形であり、蓋としての頂部箱筐体（100）、および底部箱筐体（200）を含む。好ましくは、頂部箱筐体および底部箱筐体は、箱の1つの短端部で一体に蝶着される。開口面は傾斜していることが好ましい。

40

【0014】

蝶着扉（210）は底部箱筐体（200）の上部開口を被覆し、蝶着扉（210）の中心には、それによって画定される蝶着扉穴（212）が存在する。蝶着扉（210）の下で、内部頂壁（220）、2つの内部側壁（230、240）、および内部前壁（250）は、卵形の装置（10）を格納するための空間を画定する。蝶着扉（210）の蝶着扉穴（212）に対応して、頂壁穴（222）が内部頂壁（220）の中心に設置され、それによって画定される。蝶着扉（210）は内部頂壁（220）の後端に蝶着される。

【0015】

内部頂壁（220）の下で、ホルダ壁（310）は内部頂壁（220）の後端に蝶着さ

50

れ、第1ヒンジ壁(320)および第2ヒンジ壁(330)はヒンジ線(325)で互いに蝶着される。第2ヒンジ壁(330)は第1ヒンジ壁(320)より幅を狭くすることができる。

【0016】

第1ヒンジ壁(320)の他端は、蝶着扉(210)の後端に蝶着される。第2ヒンジ壁(330)の他端はホルダ壁(310)の中央部付近に蝶着される。

【0017】

ホルダ壁(310)の中央部付近および第2ヒンジ壁(330)の上部には、卵形の装置(10)を格納するための穴が存在する。卵形の装置(10)は、プラスチックホルダ(312)によってホルダ壁(310)に固定される。

10

【0018】

2つのスライダ壁(340、350)が内部側壁(230、240)の下部に沿って内側に取り付けられる。第1ヒンジ壁(320)の下端の左右先端部は、スライダ壁(340、350)の上端を摺動することができる。

【0019】

付属品用の空間は、箱の内部前壁(250)の前に画定される。

【0020】

蝶着扉(210)が開いたときに、第1ヒンジ壁(320)がスライダ壁(340、350)に沿って下降し、ホルダ壁(310)が第2ヒンジ壁(330)によって押し上げられ、したがって卵形の装置(10)が開かれる蝶着扉(210)の動きと共にゆっくりと上昇し、より目立つようになり、かつ／またはより優れた提示を達成するように、蝶着扉(210)の後端部、第1ヒンジ壁(320)、第2ヒンジ壁(330)、およびホルダ壁(310)は四節機構を形成する。

20

【図面の簡単な説明】

【0021】

添付の図面に関連する本発明の実施形態についての以下の詳細な説明によって、本発明はいっそうよく理解されるであろう。

【図1】閉じられた矩形の包装箱の側面図を示す。

【図2】開いた包装箱の側面図を示す。

【図3】図2の底部箱筐体の側面断面図を示す。

30

【図4】蝶着扉が開かれ、卵形の装置が目立つ提示位置にある、底部箱筐体の側面断面図を示す。

【図5A】蝶着扉が開いた状態の底部箱筐体の内部側壁に沿って切られた側面断面図を示す。

【図5B】蝶着扉が開いた状態の底部箱筐体の内部側壁に沿って切られた側面断面図を示す。

【図6A】蝶着扉が開いた状態の底部箱筐体のスライダ壁に沿って切られた側面断面図(中心付近)を示す。

【図6B】蝶着扉が開いた状態の底部箱筐体のスライダ壁に沿って切られた側面断面図(中心付近)を示す。

40

【図7A】蝶着扉が開いた状態の底部箱筐体の中心面に沿って切られた側面断面図を示す。

【図7B】蝶着扉が開いた状態の底部箱筐体の中心面に沿って切られた側面断面図を示す。

【符号の説明】

【0022】

10 卵形の装置
100 頂部箱筐体／上蓋
200 底部箱筐体／底部容器
210 蝶着扉

50

2 1 2	蝶着扉穴	
2 1 4	プルタブ	
2 2 0	内部頂壁	
2 2 2	頂壁穴	
2 3 0	内部側壁	
2 4 0	内部側壁	
2 5 0	内部前壁	
3 1 0	ホルダ壁	
3 1 2	プラスチックホルダ	
3 2 0	第 1 ヒンジ壁	10
3 3 0	第 2 ヒンジ壁	
3 4 0	スライダ壁 (第 1 側)	
3 5 0	スライダ壁 (第 2 側)	
3 2 5	第 1 および第 2 ヒンジ壁間のヒンジ線	

【発明を実施するための形態】

【0023】

図 1 は、本書に開示する通り、頂部箱筐体 1 0 0 および底部箱筐体 2 0 0 を備えた包装箱を示す。包装箱は矩形である。

【0024】

図 2 は開位置にある頂部箱筐体 1 0 0 を示し、それは頂部箱筐体 1 0 0 の短端部で底部箱筐体 2 0 0 に蝶着されている。開口面は傾斜している。

【0025】

卵形の装置 1 0 の頂部先端が、蝶着扉 2 1 0 の蝶着扉穴 2 1 2 を介して示されている。蝶着扉 2 1 0 の遠端には、蝶着扉 2 1 0 を持ち上げて開くためのプルタブ 2 1 4 が取り付けられている。

【0026】

図 3 ～図 4 は四節機構の主な構造を示す。図 5 A ～図 7 B は、開状態（人目を引くディスプレイ）と閉状態との間の移動の 3 D 断面図をも示す。

【0027】

蝶着扉 2 1 0 の下で、内部頂壁 2 2 0、2 つの内部側壁 2 3 0、2 4 0、および内部前壁 2 5 0 は、卵形の装置 1 0 を格納するための空間を画定する。蝶着扉穴 2 1 2 に対応して、頂壁穴 2 2 2 が内部頂壁 2 2 0 の中心に設置される。蝶着扉 2 1 0 は内部頂壁 2 2 0 の後端に蝶着される。

【0028】

内部頂壁 2 2 0 の下で、ホルダ壁 3 1 0 は内部頂壁 2 2 0 の後端に蝶着される。第 1 ヒンジ壁 3 2 0 および第 2 ヒンジ壁 3 3 0 はヒンジ線 3 2 5 で互いに蝶着される。第 2 ヒンジ壁 3 3 0 は第 1 ヒンジ壁 3 2 0 より幅が狭い。

【0029】

第 1 ヒンジ壁 3 2 0 の他端は蝶着扉 2 1 0 の後端に蝶着される。第 2 ヒンジ壁 3 3 0 の他端はホルダ壁 3 1 0 の中央部に蝶着される。

【0030】

2 つのスライダ壁 3 4 0、3 5 0 は、内部側壁 2 3 0、2 4 0 の下部に沿って内側に取り付けられる。第 1 ヒンジ壁 3 2 0 の下端（ヒンジ線 3 2 5）の左右先端部は、スライダ壁 3 4 0、3 5 0 の上端を摺動することができる。

【0031】

蝶着扉 2 1 0 の後端部、第 1 ヒンジ壁 3 2 0、第 2 ヒンジ壁 3 3 0、およびホルダ壁 3 1 0 は四節機構を形成する。

【0032】

ホルダ壁 3 1 0 の中央部および第 2 ヒンジ壁 3 3 0 の上部に、卵形の装置 1 0 を格納するための穴が存在する。卵形の装置 1 0 はプラスチックホルダ 3 1 2 によってホルダ壁 3

10

20

30

40

50

10に固定される。

【0033】

蝶着扉210を開けると、第1ヒンジ壁320がスライダ壁340、350に沿って下降し、ホルダ壁310は第2ヒンジ壁330によって押し上げられ、したがって卵形の装置10は、開かれる蝶着扉210の動きと共にゆっくりと上昇し、より目立つようにディスプレイされる状態になる。

【0034】

付属品用の空間は、包装箱の内部前壁250の前に画定される。

【0035】

本発明を好適な実施形態に関連して説明した。説明のみならず図面もまた、本発明の理解を助けるように意図されたものであって、発明の範囲を限定するものではない。本書に記載する発明の範囲から逸脱することなく、本発明に様々な変形を施すことができることは、当業者には明らかであろう。したがって、そのような変形は、本明細書の記載によって網羅されていることを意図している。

10

【図1】

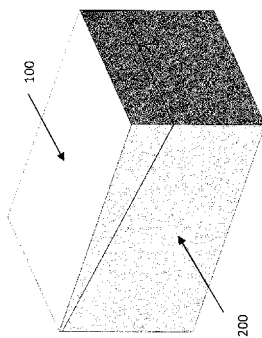


Fig. 1

【図2】

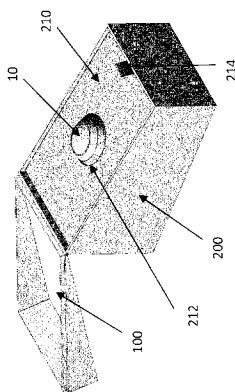


Fig. 2

【図3】

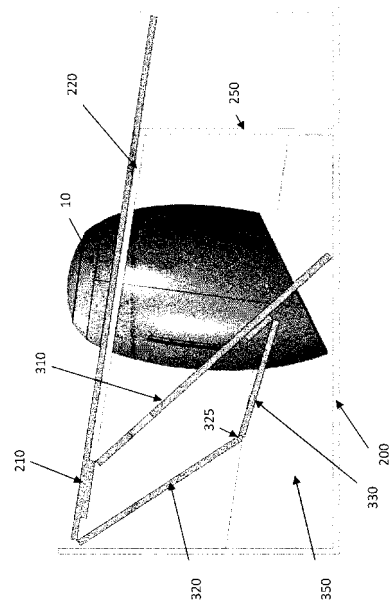


Fig. 3

【図 4】

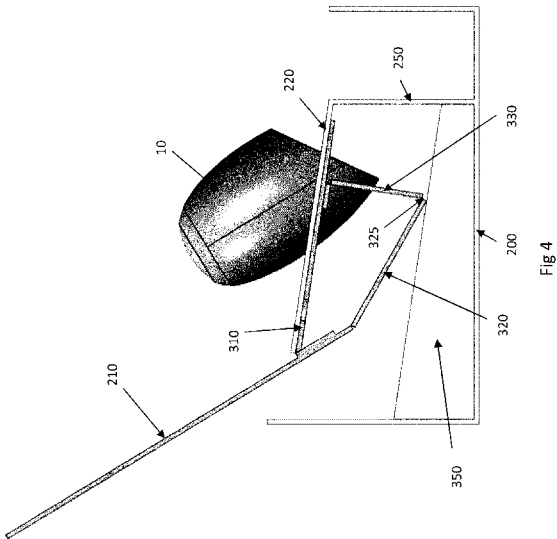


Fig 4

【図 5 B】

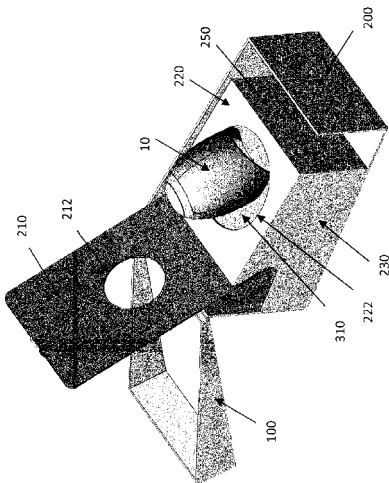


Fig 5B

【図 5 A】

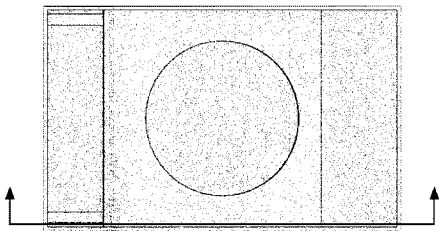


Fig 5A

【図 6 A】

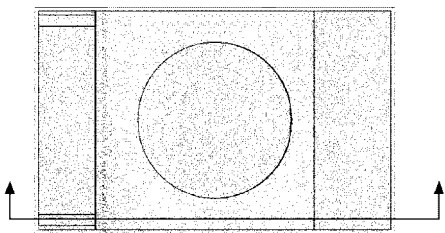


Fig 6A

【図 6 B】

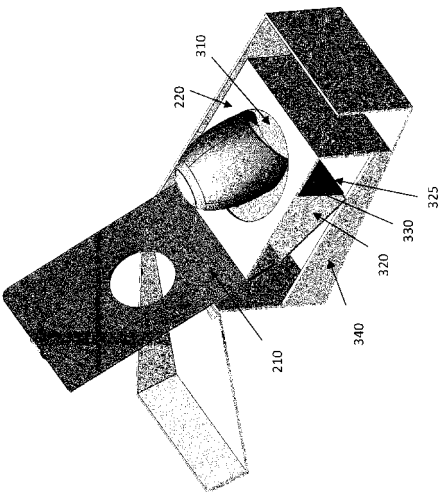


Fig 6B

【図 7 B】

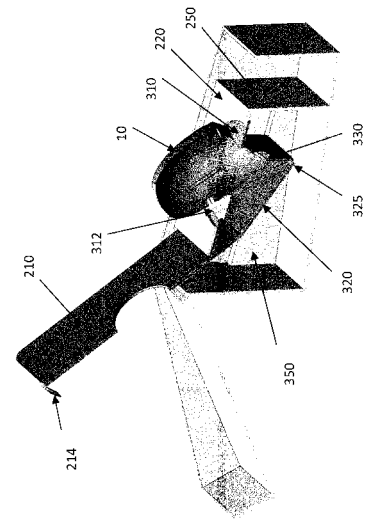


Fig 7B

【図 7 A】

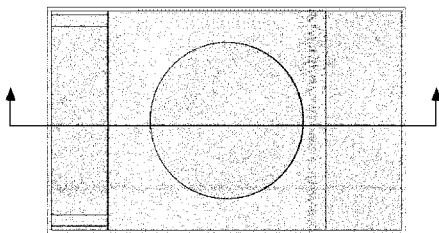


Fig 7A

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/CA2013/050981
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC: B65D 85/32 (2006.01) According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC: B65D 85/32, B65D 85/30, B65D 85/00, B65D 85/58, B65D 85/86		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic database(s) consulted during the international search (name of database(s) and, where practicable, search terms used) TotalPatent: IPC, with hinge, box, present, display, lift, elevate, raise, ascend CPD: IPC with lift/elevate/raise/ascend		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	CN 202594134 U (HANG, Y.) 12 December 2012 (12-12-2012) -figures 1-4; English machine translation of description	1-2, 6-9
Y	US 7621405 B2 (SCHWEITZER, A. et al.) 24 November 2009 (24-11-2009) -abstract; figures 4-7	1-2, 6-9
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family	
Date of the actual completion of the international search 17 March 2014 (17-03-2014)		Date of mailing of the international search report 04 April 2014 (04-04-2014)
Name and mailing address of the ISA/CA Canadian Intellectual Property Office Place du Portage I, C114 - 1st Floor, Box PCT 50 Victoria Street Gatineau, Quebec K1A 0C9 Facsimile No.: 001-819-953-2476		Authorized officer Elizabeth Gojkovic (819) 934-3468

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family membersInternational application No.
PCT/CA2013/050981

Patent Document Cited in Search Report	Publication Date	Patent Family Member(s)	Publication Date
CN202594134U	12 December 2012 (12-12-2012)	None	
US7621405B2	24 November 2009 (24-11-2009)	AU2008267010A1 AU2008267010A2 AU2008267010B2 EP2158141A1 EP2158141A4 EP2158141B1 US2008314791A1 WO2008156594A1	24 December 2008 (24-12-2008) 21 January 2010 (21-01-2010) 09 January 2014 (09-01-2014) 03 March 2010 (03-03-2010) 19 October 2011 (19-10-2011) 22 May 2013 (22-05-2013) 25 December 2008 (25-12-2008) 24 December 2008 (24-12-2008)

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(74)代理人 100168044

弁理士 小淵 景太

(74)代理人 100168099

弁理士 鈴木 伸太郎

(72)発明者 レパージェ、ステファン

カナダ、ケベック H 2 J 3 Z 3、モントリオール、5 2 9 4 マルケット

(72)発明者 ジョフロイ、エリック

カナダ、ケベック J 0 B 1 C 0、アヤーズ クリフ、1 4 2 1 シュマン ヴァリエール

(72)発明者 キュアール、リリアン

カナダ、ケベック H 1 V 2 P 3、モントリオール、2 5 3 9 リュ ルトユルヌー

F ターム(参考) 3E060 AA03 BA14 CB03 CB16 CB24 CC18 CC53 DA17 EA16

3E096 AA01 BA21 BB09 CA03 CB03 CC01 DA04 DA25 DC02 EA01X

EA02Y FA09 FA17 FA27 GA11 GA13